

いおくニュース

IOKU NEWS

Vol. 89

2018年5月号 | May, 2018



NEWS

農福連携 長年の課題解決
相性の良さを生かせる仕組みづくりを

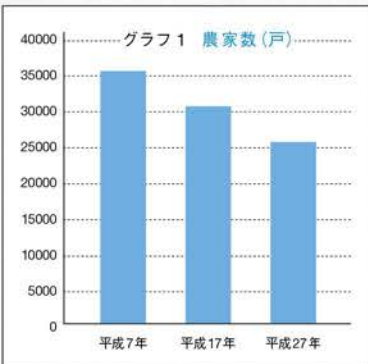


今 農業を取り巻く状況は深刻です。グラフ1を見てください。

ドで農家は減り続けています。平均年齢は67歳。高齢化と担い手不足に伴い、管理されない土地が急速に増加してい

ます。耕作放棄地は奈良でも3633haと、近畿の中でも一番の耕作放棄地率となっています。

一方、福祉分野の長年の課題。それは働く場所の少なさです。実は、奈良県の障害者就



もっと詳しく中面へ

猪奥美里(いおくみさと)プロフィール

1980年奈良市秋篠町生まれ
平城小学校・平城中学校／ドイツギムナジウムジューケ留学／奈良大学附属高等学校／立命館大学・立命館大学大学院(環境経済学専攻)／衆議院議員秘書
2011年奈良県議会議員初当選 2015年4月2期目当選
◆ 経済労働委員会委員 防災・県土強靱化対策特別委員会副委員長

データでみる! 奈良県政



今月のテーマ

障がい者の働くを考える

① 障害者の人数

奈良県の障害者の人数は、88,889人。精神障害は10倍の増加ですが、身体・知的障害も共に増えていて、前年度比1,117人の増加となっています。平成10年に比べると、全体で67%増加です。



② 障害者の雇用の状況



奈良県は民間企業の実雇用率が全国トップ! しかしそれでも障害者全体の2.6%で、低就業と低賃金が課題です。



資料:厚生労働省「障害者雇用状況の集計結果」奈良労働局「奈良県の障害者の雇用状況について」

連絡先

〒631-0817 奈良市西大寺北町1丁目1-16 岡本ビル103号
TEL 0742-53-1093 FAX 0742-53-1094

ポスティングのお願い

このいおくニュースは、いおくや事務所スタッフ、そしてボランティアの皆さんで手配りをしています。少しでも結構ですので、お手伝いいただける方は、ご連絡ください。

今月のいおく



1日 (日)	民進党全国幹事会@東京
2日 (月)	支持者訪問
3日 (火)	民進党奈良県連県民運動・広報委員会
4日 (水)	休み
5日 (木)	写真撮影①
6日 (金)	モバイク木下社長と面会
7日 (土)	大川さくら祭り、 女性議員を増やそう in 奈良
8日 (日)	梅ヶ丘総会
9日 (月)	民進党奈良県連役員会・常任幹事会
10日 (火)	平城小学校入学式
11日 (水)	平城中学校入学式
12日 (木)	休み
13日 (金)	米村神奈川県議奈良県視察同行
14日 (土)	JC旅行
15日 (日)	宇陀市議会議員選挙スタート松浦候補応援
16日 (月)	松浦りくこ宇陀市議会議員候補選挙応援
17日 (火)	民進党女性議員ネットワーク会議 世話人会@東京
18日 (水)	梅あい会、シャープ郡山くらしの相談会
19日 (木)	連合執行委員会
20日 (金)	松浦りくこ宇陀市議会議員候補選挙応援
21日 (土)	曾祖母法事、松浦りくこ候補選挙応援
22日 (日)	民進党奈良県連第一区総支部幹事会
23日 (月)	支持者訪問
24日 (火)	支持者訪問
25日 (水)	ぶろぼの訪問②
26日 (木)	支持者訪問
27日 (金)	民進党奈良県連ブリーズレットキャンペーン
28日 (土)	第89回メーデー奈良地方大会③、 常任幹事会
29日 (日)	新規就農について農業者と懇談会
30日 (月)	支持者訪問



4月号のリニューアルに合わせ、写真も新しく撮っていただきました♪



社会福祉法人ぶろぼのさん訪問。日本で、初めての集成材の高層建築。私の持っているのが壁の厚さ。



今年もメーデーに参加。西田連合会長、まぶちさん、働く仲間のみなさんと行進

業率(民間企業)は全国1位。率で見ると、2.6%。この数字で全国トップなのです。大多数の一般企業で雇用されない、福祉的就労に従事している障害者の月額賃金は、奈良県では平均で、就労継続支援型のA型事業所で7.1万円、B型事業所で1.5万円です。

事業所と福祉それぞれの課題を解決するために、今こそ、農業と福祉の連携、農福連携に力を入れるべきだと考えます。しかし単に、障害者に農業をしてもらえば良いという、簡単なことではありません。農業も福祉も非常に専門性が高い分野です。だからこそ、連携をすすめるためには、農業と福祉の両方の観点を持ち、間を繋ぐ、仲介・調整・支援す

る役割が必要と考えます。三重、山梨、香川、長野などでは中間支援団体が設立されており、私は三重県にお話を伺いに行きました。

三重県では社団法人三重県障がい者就労促進協議会が設立され、農業ジョブトレーナーの育成をし、農家さんへ派遣し、また農業者と障害者のマッチングや技術開発などが行われています。その結果、働く障害者の給与が多くなり、また飲む薬の量が減ったりという素晴らしい成果も出てきています。

先祖からの田畑が荒れていくこともなく、気持ちの良い汗を流しながら、イキイキと誇りを持って働く。そんな姿を目指し、農業と福祉の連携を推進していきます。

PICK UP

国民民主党 結党「自由」「共生」「未来への責任」

5月7日結党大会が開催され、私も参加しました。歴史や伝統に敬意を払いつつ、未来を先取りし問題解決する。これから必要なのは、人口が減少しても持続可能な仕組みの構築です。人口が増大した高度経済成長時代の幻を追わず、20世紀型の成功体験と決別し、未来を展望する。——民主党結党時の理念と変わらない以上、離党する理由はありません。共に活動をする決意です。



若手国会議員と地方議員が結党宣言を読み上げ